

「【500人に聞く】第22回  
“家庭のおクスリ事情”に関する調査」ダイジェスト  
通販の利用者は少数ながら増加の兆しも見られる  
月刊『アイ・エム・プレス』 Vol.164(1月号)誌上で公開!

株式会社アイ・エム・プレスは、月刊『アイ・エム・プレス』に連載中の「500人に聞く」シリーズ(調査主体:(株)アイ・エム・プレス 調査協力:(株)マーシュ)の第22回として家庭のおクスリ事情について調査を行いました。本リリースでは、同調査結果のダイジェストをお送りします。

なお本調査は、2009年12月25日に弊社が発行いたしました、月刊『アイ・エム・プレス』Vol.164(1月号)に結果全文を掲載しております。月刊『アイ・エム・プレス』Vol.164の詳細は、<http://www.im-press.jp/magazine/> から。



< 調査の概要 >

調査期間: 2009年11月30日(月)~12月1日(火)  
調査方法: インターネットリサーチ((株)マーシュ調べ)  
調査対象: 全国における20~60歳の男女          サンプル数: 500

< 調査結果紹介 >

2009年6月、改正薬事法が施行された。大まかな内容としては、一般用医薬品を副作用のリスクなどを基準に第1類、第2類、第3類の3つに分類する。第1類の販売は薬剤師(国家資格)のみが行える。第2類は登録販売者(都道府県資格)でも可。いずれも対面が条件。通信販売(ネット通販を含む)では第3類の販売のみが可能。というもので、条件を満たせばコンビニなどでもすべての一般用医薬品を販売できるようにした一方、対面できない通信販売においては、これまでに販売してきたすべての一般用医薬品を第3類のみに制限した。

規制の緩和と強化が混在した法改正から6カ月を経て、生活者はどのように感じているのだろうか。

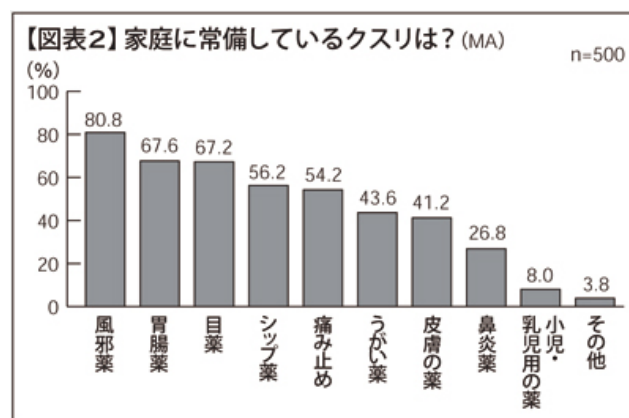
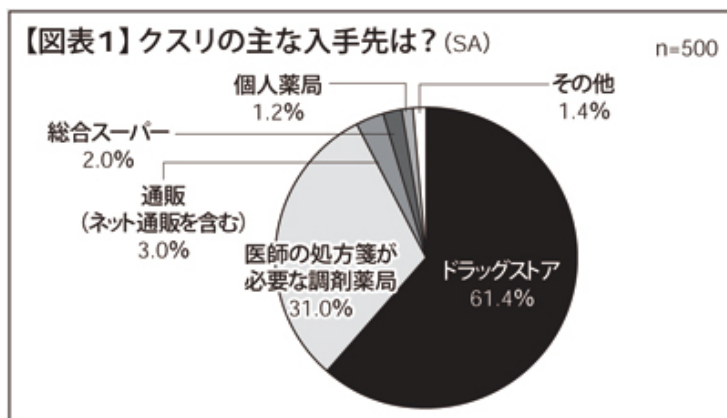
ドラッグストアと調剤薬局の利用で9割以上に

まず、クスリの主な入手先を聞いたところ、「ドラッグストア」が61.4%でトップとなった。次が「医師の処方箋が必要な調剤薬局」の31.0%で、この上位2つで全体の9割以上を占める。「通販(ネット通販を含む)」は3.0%にとどまった(図表1)。トップの「ドラッグストア」では医薬品のみならず、化粧品・日用雑貨・食品なども取り扱い、全国で約1万6,000店舗、5兆円の売上高を誇る。今後も営業時間の延長や調剤機能の取り込みを行い、さらなる成長を図っていくとされており、今や国民生活に欠かせない地位を築いたと言える。軽い症状のときにはドラッグストアで一般用医薬品を、重い症状のときには医師の診察を受けた上で、薬局で調剤してもらうというパターンが根付いていることが確認できた。

次に、家庭に常備しているクスリを聞いたところ、トップは「風邪薬」の80.8%で、以下、「胃腸薬」が67.6%、「目薬」が67.2%で続いた。そのほか「シップ薬」「痛み止め」も50%を超えており、“深夜の発熱”などの突発的な事態に備えている現状がわかった（図表2）。

ちなみにここで挙げた例を、前述した一般用医薬品の分類に当てはめると、目薬とシップ薬は第3類に属するものが多く、そのほかのクスリは第2類に属していることが多い。

冒頭で述べた改正薬事法について知っているかを聞いたところ、最も多かったのは「大体知っている」の49.2%で、「よく知っている」の9.6%と合わせると約6割の生活者が知っていると回答している（図表3）。施行前後にはマスコミでも頻繁に取り上げられていたので、その時期に知った人たちが多かったのではないと思われる。・・・（以下続く）



同調査のさらなる情報は以下のサイトへ！

**500人に聞く・第1回～第21回バックナンバーも満載！**

「アイ・エム・プレス」Webサイトはこちら！

<http://www.im-press.jp/index.html>

インターネットが企業と生活者、そして企業と企業をつなぐ時代。従来からの競合の概念は大きく変化し、顧客主導型経営の重要性が叫ばれています。月刊『アイ・エム・プレス』では、このような“変革の時代”に勝ち残るための顧客づくりのヒントを、年間定期購読システムによりお届けしております。

< 株式会社アイ・エム・プレス >

代表取締役社長： 西村道子 / 設立： 1989年10月19日

業務内容： 出版、セミナー企画、調査、編集

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-3-6 聖台ビル 5F

TEL：03-3815-8991 / FAX：03-3815-8957

URL：http://www.im-press.jp/

< 本リリースに関する問い合わせ先 >

(株)アイ・エム・プレス 編集部 / 販売促進 までお気軽にお問い合わせください。

TEL / FAX / URL： 同上